

(様式1)

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況  
点検・評価分析シート(一次)

事業番号	4			評価者	担当課等	学校教育課		
事業名称	心豊かでたくましい人間の育成							
項目名称	①教育相談員等配置事業							
①事業概要	実施根拠法令	二戸市教育委員会教育相談事業実施要綱						
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他( )						
	事業費内訳	□国庫補助 □県単 ■一般財源 □その他( )						
	対象(～に対して)	市内の保護者、児童生徒、学校						
	目的(目指すべき姿)	相談者が教育相談を行うことで、問題解決の糸口を見つけ心に余裕ゆとりを持てるような環境を提供する。						
	事業内容	教育の悩みに対応するため、教育相談、心の教育相談員、スクールカウンセラーを配置する。						
②事業実績・効果	区分			単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	事業の実績	1	教育相談員	人	1	1	1	1
		2	心の教室相談員	人	3	3	3	1
		3	スクールカウンセラー	人	2	2	2	4
	事業効果	1	教育相談員相談件数	件	80	64	51	
		2	心の教室相談員相談件数	件	462	1,491	903	
3		スクールカウンセラー相談件数	件	324	318	220		
③事業費	区分			単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	決算額(平成22年度は見込額)			千円	2,123	1,992	2,029	2,151
	年度の歳出(節別内訳)			千円	・報酬 1,991 ・共済費 5 ・旅費 16 ・役務費 56 ・使用料 55	・報酬 1,968 ・共済費 5 ・旅費 16 ・消耗品 3	・報酬 2,009 ・共済費 3 ・旅費 17	・報酬 2,111 ・共済費 11 ・旅費 26 ・消耗品 3
④事業評価	担当課による一次評価(内部評価)	[必要性]	児童生徒、保護者が抱える問題は、児童生徒を取り巻く環境の変化と共に、学校だけでは対応が難しい状況にあり、専門性を有する相談員の需要は高い。					
		[有効性]	相談内容は、学校生活に関すること、生活及び行動に関すること、家庭教育に関すること、その他児童生徒の問題全般にわたることから、専門性を有する相談員の配置は有効である。					
		[効率性]	福祉、保健、医療関係と連携を図り、情報の共有に努めている。					
		[公平性]	児童生徒、保護者、学校関係者等に広く柔軟に対応している。					

(様式1)

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況  
点検・評価分析シート (一次)

事業番号	4		評価者	担当課等	学校教育課			
事業名称	心豊かでたくましい人間の育成							
項目名称	②健康診断実施事業							
① 事務事業概要	実施根拠法令	学校保健安全法						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
	対象(～に対して)	児童・生徒・教職員						
	目的(目指すべき姿)	児童・生徒・教職員の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として行われる。						
	事業内容	定期健康診断等の実施						
② 事業実績・効果	区分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	事業の実績	1	定期健康診断実施事業	回/年	1	1	1	1
		2	教職員健康診断実施事業	回/年	1	1	1	1
		3	各種検診・検査実施事業	回/年	1	1	1	1
	事業効果	1	定期健康診断実施事業	人	2,722	2,636	2,590	2,511
		2	教職員健康診断実施事業	人	237	230	241	189
3		各種検診・検査実施事業	人	2,722	2,636	2,590	2,511	
③ 事業費	区分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	決算額		千円	13,468	13,073	11,991	12,993	
	年度の歳出(節別内訳)		千円	・需要費 45 ・役務費 24 ・委託料 13,399	・需要費 24 ・役務費 24 ・委託料 13,025	・需要費 34 ・役務費 16 ・委託料 11,941	・需要費 23 ・役務費 18 ・委託料 12,952	
④ 事務事業評価	担当課による一次評価(内部評価)	[必要性]	児童・生徒・教職員の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として行われる法に定められた業務である。					
		[有効性]	児童・生徒・教職員の疾病の早期発見、早期治療による健康の保持増進に有効である。					
		[効率性]	医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携し、円滑な事業の執行に務めている。					
		[公平性]	全ての児童生徒・教職員に対し実施している。					

(様式1)

戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況  
点検・評価分析シート(一次)

事業番号	4		評価者	担当課等	学校教育課		
事業名称	心豊かでたくましい人間の育成						
項目名称	③学校体育振興事業						
①事務事業概要	実施根拠法令						
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他( )					
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 □一般財源 □その他( )					
	対象(～に対して)	中学校教員及び生徒					
	目的(目指すべき姿)	平成24年度から中学校保健体育の授業で必修となる武道について、授業を進めるための物品整備並びに体育担当教員の指導力の向上に資する。					
事業内容	・柔道及び剣道用具の整備 ・授業改善研修会 ・中学校体育実技講習会						
②事業実績・効果			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	事業の実績	1 授業改善研修会	回	-	-	-	1
		2 中学校体育実技講習会	回				1
		3 武道授業	時間				109
	事業効果	1 授業改善研修会	人	-	-	-	9
		2 中学校体育実技講習会	人				10
		3 武道授業(履修生徒数)	人				360
③事業費	区分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	決算額		千円	-	-	-	6,005
	年度の歳出(節別内訳)						
			千円				・報償費 268 ・旅費 119 ・需用費 5,487 ・役務費 2 ・備品購入費 129
④事務事業評価	担当課による一次評価(内部評価)	[必要性] 平成24年度から中学校保健体育の授業において、武道のいずれかの種目を第1学年及び第2学年の生徒は全員履修することとなった。そのため、武道授業に係る用具等の整備と体育担当教員の指導力向上を図る必要がある。					
		[有効性] ・授業改善研修会と実技講習会を実施し、武道指導の在り方を示すことができ体育担当教員の指導力の向上を図ることができた。 ・柔道及び剣道の用具整備を進めたことで、保護者の経済的負担をなくすことができた。					
		[効率性] 国の委託事業により補助割合が10割のため、効率的である。					
		[公平性] 武道授業の先行実施を希望した学校については、授業を進めるうえで必要となる柔道及び剣道の用具等の整備を進めることができた。					

## II 二戸市教育振基本計画に基づく平成21年度分野別主要事業の取組実績

### 4-心豊かでたくましい人間の育成

- ①教育相談員等配置事業
- ②健康診断実施事業
- ③学校体育振興事業

#### 【委員の意見・提言】

#### ■ 4-①教育相談員等配置事業

- ◆ この事業は、不登校とか登校しても教室に入れない児童生徒を対象とした事業なわけですが、そういった児童生徒の人数の増減と対比した評価とか、個々のケースにスポットをあててみると成果のあったものが何件あったなどといったような評価は出来ないものでしょうか。一次評価を見ると予算の市長復活要求の説明資料に書かれたような文章になっているのが気になりました。
- ◆ 「必要性」の文言は正当性があり、確かにいろいろ問題を抱えている児童・生徒の数も多い。これを解決していくためのあり方として教育相談員を配置することは、これからの児童・生徒をより良い方向に導くため正当性があるものと考えます。そのための配置は現在のあり方で良いか学校との協議の上増員しても良いのではないかと。
- ◆ 児童、生徒、保護者も多様化し、学校、家庭、地域における多岐にわたる相談に適切に対応できるよう相談体制の充実が望まれる。
- ◆ 相談件数は減少しているが、潜在化している問題もあると思われるので、見逃し、放置することなく、顕在化しながら児童生徒の支援していただきたい。

#### ■ 4-②健康診断実施事業

- ◆ この事業を効率的に実施するためには、医師の確保、日程調整、健診器具の消毒や数のやり練り等で、三師会の先生方との協力と指導をいただいているはずですが、21年度は、トラブルの発生も無く効率的に実施できたのでしょうか。こういった観点からの評価も加味すれば深みのある評価になると思います。
- ◆ 健康診断により早期発見、早期治療は当然のことであり、児童生徒、教職員の健康保持増進を図るため関係機関と連携し、適切な保健管理に努め、心身ともに健康な子を育ててほしい。
- ◆ 学校生活における児童・生徒の健康保持のため法律によっても制定されている。健康診断による活動により、児童・生徒の学校生活が心身ともに健康になることはこれからの人間形成に大きく寄与しているものである。これに係る費用は委託業務となっており、一般財源での支出には疑問がある。委託業務であればそれなりの予算が市予算以外に考えられないものかについては、予算が少ない当市においても検討する必要があるのではないかと。

#### ■ 4-③学校体育振興事業

- ◆ 効率性の項目には21年度から3年間で体制整備を完了しなければならないので、効率良くそれを進めるために、どのような計画とか工夫を凝らして取り組んだがとか、それを計画通りに出来たというようなことを書いたらどうでしょうか。
- ◆ 希望した中学校から順番に用具等の整備をすることが、公平と言えるのか疑問です。この観点の評価は、「年次的に整備を進めなければならなかったのに、公平性の観点から不公平感が生じないように、各校の意見や希望を聞いたうえで、年次計画を立てて整備を進めることにした。」などと記載した方が良いのでは。
- ◆ 学校指導要領においても、体育指導のあり方について制定されており、今後も進めていく必要がある。特に、剣道・柔道に関する準備費用は高価であるが学校に対して十分な支援をしていく必要がある。体育教師に対しても研修の機会を多くして、安全な指導が出来るよう配慮してほしい。
- ◆ 武道の履修に向けて、指導者を養成し、指導力の向上と指導体制の確立を図る必要がある。